

Member & Event

〈堀川まちづくりの会〉会員・イベント紹介 2016

黒川地区

イベントピックアップ!

2016年4月2日
黒川友禅流し
場所：辻栄橋付近(北区)
団体：北区まちづくり推進協議会(〇等)



黒川の風物詩だった友禅流しを復活。今では堀川を代表する桜のシーズンを彩る人気イベントとなっています。

四間道地区

2016年7月下旬
第61回円頓寺七ヶ祭り
場所：円頓寺商店街 団体：〇円頓寺商店街振興組合

2016年11月上旬
円頓寺秋の祭り
場所：円頓寺商店街 団体：〇円頓寺商店街振興組合

その他

2016年4月8日
春の大潮一斉調査 場所：堀川沿川
団体：〇堀川1000人調査隊2010実行委員会

2016年4月16日
クリーン堀川春の一斉大掃除
場所：北清水水鏡水広場(黒川地区)宮の渡し公園(熱田地区)
団体：クリーン堀川(事務局：〇NPO法人堀川まちネット)

2016年6月4日
環境デー名古屋 堀川クルーズ
場所：白鳥～納屋橋、白鳥～名古屋港
団体：〇名古屋堀川ライオンズクラブ

2016年6月5日
水フェスタ 場所：錦屋上野浄水場
団体：〇堀川1000人調査隊2010実行委員会

2016年6月頃
木曾森林管理署南木曾支所・南木曾町合同植樹祭
場所：長野県南木曾町 団体：〇名古屋堀川ライオンズクラブ

2016年7月26日～29日
下水道展'16名古屋 場所：ボートメッセなごや
団体：〇堀川1000人調査隊2010実行委員会、〇中部経済連合会

2016年9月頃
第19回調査隊報告会 場所：未定
団体：〇堀川1000人調査隊2010実行委員会

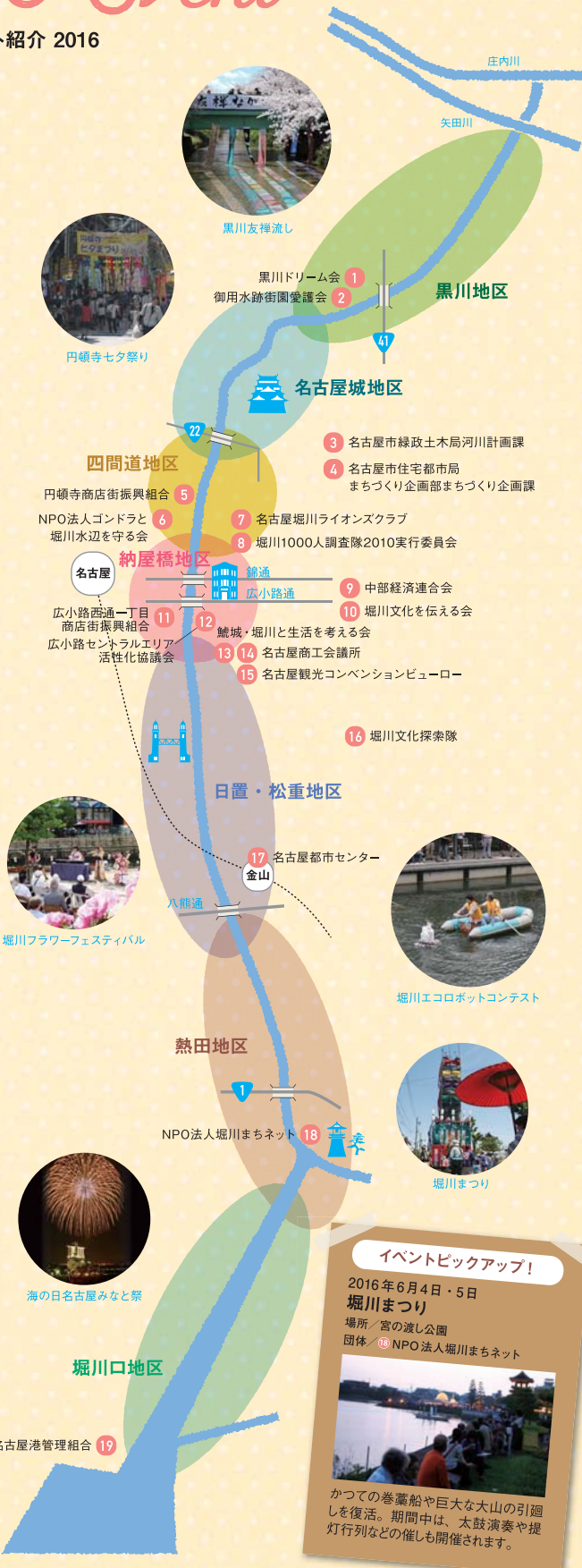
2016年9月10日
クリーン堀川秋の一斉大掃除
場所：北清水水鏡水広場(黒川地区)納屋橋周辺(納屋橋地区)宮の渡し公園(熱田地区)
団体：クリーン堀川(事務局：〇NPO法人堀川まちネット)

2016年9月17日(予定)
環境デー名古屋 ブース出展 場所：久屋大通公園
団体：〇名古屋堀川ライオンズクラブ、〇鯉城・堀川と生活を考える会

2016年11月5日(予備日：12日)
鯉城・堀川清掃大作戦 場所：堀川・新堀川全川
団体：〇鯉城・堀川と生活を考える会

2016年11月頃
木曾三川がつなぐ山とまちインターネットフォーラム
場所：未定 団体：〇堀川1000人調査隊2010実行委員会

2016年2月頃
第20回調査隊報告会 場所：未定
団体：〇堀川1000人調査隊2010実行委員会



納屋橋地区

イベントピックアップ!

2016年5月13日～28日
堀川フラワーフェスティバル
場所：納屋橋周辺
団体：堀川フラワーフェスティバル実行委員会(〇〇〇〇〇〇〇〇等)



参加者自らが作成したハンギングバスケットが堀川を彩り、期間中様々な催しが開催されます。

フラワーフェスティバル内イベント

◆4月14日～18日
ハンギングバスケット作成会
団体：堀川フラワーフェスティバル実行委員会

◆5月頃
堀川水質検査デモ
団体：〇鯉城・堀川と生活を考える会

◆5月頃
愛知淑徳大学 Day
団体：〇愛知淑徳大学コミュニティコラボレーションセンター

◆5月14日・15日・21日・22日・28日
ゴンドラ体験乗船
団体：〇NPO法人Gondraと堀川水辺を守る会
※ゴンドラ体験乗船は3月～11月の毎月最終土曜日にも開催しています。

2016年8月28日
第12回堀川エコロボットコンテスト
場所：納屋橋
団体：〇名古屋堀川ライオンズクラブ、〇名古屋工業大学

2016年10月頃
堀川ウォーターマジックフェスティバル
場所：納屋橋周辺
団体：堀川ウォーターマジックフェスティバル実行委員会(〇〇〇〇〇〇〇等)

2016年11月22日～12月11日
ギャラリー展
場所：堀川ギャラリー
団体：〇鯉城・堀川と生活を考える会

2016年5～10月頃
ナヤマルジェ
場所：アクアタウン南側
団体：〇広小路西通一丁目商店街振興組合

熱田地区

2016年10月30日・11月6日
東海道七里の渡し船旅
場所：熱田「宮の渡し」-奥名「七里の渡し」
団体：〇NPO法人堀川まちネット

堀川口地区

2016年7月18日(予定)
第70回海の日名古屋みなと祭
場所：名古屋港 団体：〇名古屋港管理組合

- 20 中部大学 松尾直規教授(堀川まちづくりの会会長)
- 21 名古屋工業大学 秀島栄三教授
- 22 名古屋市立大学 瀬川智夫名誉教授
- 23 愛知淑徳大学(コミュニティ・コラボレーションセンター)

イベントピックアップ!

2016年6月4日・5日
堀川まつり
場所：宮の渡し公園
団体：〇NPO法人堀川まちネット

かつての巻船や巨大な大山の引廻しを復活。期間中は、太鼓演奏や提灯行列などの催しも開催されます。

編集後記



おかげさまで「ワカリホ」も2年目を迎えました。発刊の時期に合わせて、桜をテーマに堀川の橋のことや、名古屋周辺をご紹介しました。意外な場所がかつては花見の名所だったなど、歴史をさかのぼるだけでも、新しい発見があるようです。季節も良くなってきましたので、ワカリホを片手に江戸時代の堀川にタイムスリップしてみたいかたが、前号でもお願いしましたが、ワカリホへの感想、要望、あるいは「私と堀川」といった、あなただけの堀川の思い出を寄せていただくことも結構です。皆さんと一緒に、楽しいワカリホを作っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

堀川まちづくりの会事務局



いつも心に川がある

堀川まちづくりの会 機関誌

ワカリホ

vol.3

Wakariho 2016 Spring



堀川(黒川)の遊歩道(北区)



名古屋城と堀川(西区)

堀川沿いにも桜がいっぱい! 天気のいい日にお花見すると気持ちよさそう!



ホリバーちゃん

ものしりネコさん

公式サイト horimachi.jp



活動日記ブログ horimachi.blog.fc2.com



フェイスブック www.facebook.com/horimachi



堀川の今、そして未来、歴史など、堀川のイロイロや、アレコレなど、「ともかく堀川を知っておきたい」という方は、一度アクセスしてみてください。

堀川まちづくりの会 | 検索

Letter from Horikawa
ホリバー
からの
手紙

徳川家康さま

五条橋(現:五條橋)から
納屋橋までの4橋に続いて、
今回は日置橋・古渡橋・尾頭橋の
3橋をご紹介します。



ホリバーちゃん

堀川の歴史を
たどれば
名古屋の歴史も
よくわかるニヤン



ものしり
ネコさん

堀川七橋・その2

⑥ 日置橋



明治時代の擬宝珠が今も残る日置橋

花見の名所となった「日置橋」

江戸時代の日置は城下町の郊外にありました。このため、市街地に隣接している五条橋から納屋橋までは230～430mの間隔で橋が架けられましたが、納屋橋から下流は郊外となる日置橋までは1.2kmも離れています。そんな日置橋ですが、文化年間(1804～1818)に御普請奉行だった堀彌九郎が日置橋の南北両岸に桜と桃の苗木数百本を植えたことから、名古屋一の花見の名所となりました。隠居していた10代目藩主の斉朝(なりとも)は、この花を見たさに家臣の屋敷をとり上げて日置屋敷にしてしまった(1844～1848頃)ほど、見事だったようです。



日置橋(尾張名所図会)

「古渡橋」の名前は鎌倉時代頃から

日置橋の下流約1kmに架かっています。古渡橋の名前は古くからあり、鎌倉時代頃の和歌集にも鎌倉街道にあった橋として詠われています。この橋は、現在の古渡交差点南の辺りを流れる大きな水路に架かっていたと言われ、堀川に橋を作ったときにその名前を頂いたということです。



古渡橋(尾張名所図会)

⑥ 古渡橋



近くには古渡城址の碑も(東別院内)



尾頭橋と佐屋街道(小治田之真清水)

佐屋街道が通る「尾頭橋」

堀川七橋のうち一番下流に作られましたが、前述の2橋とは異なり、海が荒れて七里の渡しが使えないときには、陸路で熱田から佐屋を経て桑名に行く佐屋街道が通る、交通上でも大変に重要な橋でした。そのため、上流の古渡橋との距離も600m弱という、短い間隔となっています。

⑦ 尾頭橋



佐屋街道の道標(伏見通 金山駅の西)

● 徳川家康さまへのメッセージ ●

家康さまが生みの親となった堀川ですが、作られて400年以上たった今でもしっかりと残り、現在は60近い橋が架けられ、堀川七橋も作り直されながら大事に使われています。そんな、名古屋の町づくりのために誕生した堀川を、これからも大切に育てていこうと沢山の人が頑張っています。家康さんも、堀川を温かい目で見守っててくださいね。



尾頭橋のもとにあった「七はし供養塔」(現在は熱田区の細中地蔵に所在)

※掲載資料は堀川文化探検隊所有
名古屋名所図会は鶴舞中央図書館で閲覧することができます。
監修:堀川文化探検隊、堀川文化を伝える会

Town

堀川の街ガイド③

名古屋城地区

知っているようで意外と知らないことの多い名古屋城、
歴史に彩られた名古屋城に新たな歴史の幕が開かれつつあります。

堀川の街ガイドは、堀川沿いに展開するそれぞれの街の魅力や、
楽しみ方をご紹介する便利な手引書です。
「堀川の川べりをちょっと歩いてみようかな」と思ったら、ぜひ持って行ってください。

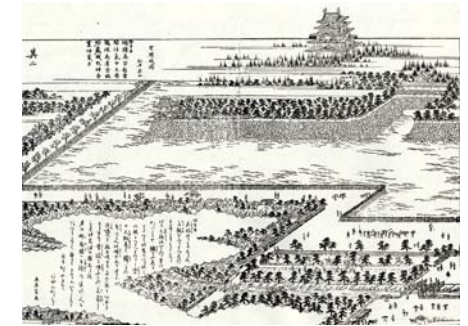
焼失、そして再建の歴史



名古屋城は
再建された
お城なんだね。

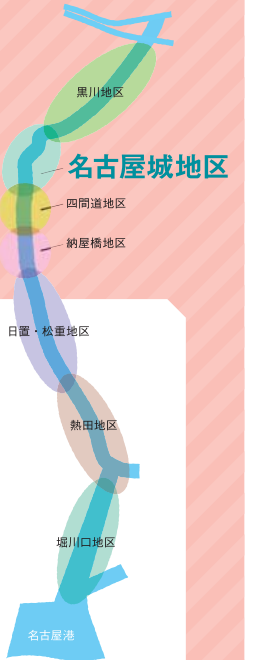


再建された名古屋城天守閣(現在)



昔の名古屋城の様子(尾張名所図会)

天守閣は慶長17年(1612)に築城されました。総延床面積は4564.0㎡と日本一の広さを誇り、また、その美しい外観から大阪城や熊本城とともに日本三名城と讃えられ、伊勢頭にも「尾張名古屋は城でもつ」と唄われて日本中に知られることとなりました。
明治維新によって全国のお城と同様に名古屋城も取り壊しの危機に瀕しましたが保存が決定され、その雄姿をとどめることができました。昭和5年(1930)には城郭として最初の国宝に指定されましたが、昭和20年(1945)5月14日の名古屋大空襲によって、大部分が焼失してしまいました。現在の天守閣は、名古屋市民の尽力や全国からの寄付で昭和34年(1959)に再建されたもので、鉄骨鉄筋コンクリート造ですが、半世紀以上が経過し、老朽化の進行などにより様々な課題が生じていて、整備の検討がされています。



本丸御殿の復元

本丸御殿は当初、初代尾張藩主義直の居館であり政務をとる場所として使われましたが、その後は將軍上洛の際の専用宿舎となりました。二条城の二の丸御殿(国宝)と並ぶ江戸時代初期の武家風書院造の双壁と言われ、昭和5年(1930)には国宝に指定されましたが、昭和20年の空襲で天守閣とともに焼失しています。
この本丸御殿も実測図やガラス乾板写真、重要文化財の障壁画等をもとに復元工事が始まりました。平成21年(2009)から3期10年、総事業費は約150億円、平成25年(2013)からは玄閣と表書院(謁見の間)を一般公開しています。また、平成28年(2016)6月1日からは対面所と下御膳所の公開も決定されていて、平成30年(2018)度の全体公開に向けて、着々と工事が進められています。



本丸御殿玄閣(焼失前)



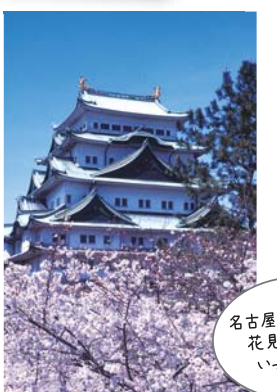
復元された本丸御殿玄閣・車寄



復元された本丸御殿表書院

花見の名所、名古屋城

ソメイヨシノやシダレ桜を中心に約10種類、1,000本の桜が咲き誇ります。城内一円で見られるソメイヨシノは3月下旬から4月上旬が、緑色の花をつける御衣黄(ぎょいこう)は4月中旬が見頃となっています。天守閣と桜を同時に撮影できる、絶好のシャッタースポットがあるのも名古屋城ならではの魅力です。
名古屋城周辺にも名城公園などの花見の名所がありますが、朝日橋から景雲橋の東岸も、かつては桜の名所でした。日置橋の桜が好評だったことから江戸時代の安政7年(1860)に植えられたもので、茶屋や料理屋でにぎわい、明治になっても多くの人が花見に訪れたと言われています。



名古屋城天守閣と桜

名古屋城周辺には
花見の名所が
いっぱいね!



黒猫



大吉様夕景(名婦之里):現在の小堀橋西付近からの風景